

新たな障害者雇用率の設定について

障害者の雇用の促進等に関する法律(昭和35年法律第123号)によると、障害者雇用率は次の計算による割合を基準とすることとされている。

$$\begin{aligned} & \text{常用雇用身体障害者数} + \text{常用雇用短時間身体障害者数} + \text{失業身体障害者数} \\ & + \text{常用雇用知的障害者数} + \text{常用雇用短時間知的障害者数} + \text{失業知的障害者数} \\ & + \text{常用雇用精神障害者数} + \text{常用雇用短時間精神障害者数} + \text{失業精神障害者数} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & \text{常用雇用労働者数} + \text{常用雇用短時間労働者数} \times 0.5 \\ & - \text{除外率相当労働者数} + \text{失業者数} \end{aligned}$$

$$\{39.4\text{万人} + 3.5\text{万人} + 9.2\text{万人} + 16.5\text{万人} + 3.4\text{万人} + 4.3\text{万人} + 9.4\text{万人} + 3.3\text{万人} + 12.9\text{万人}\} = 101.9\text{万}$$

$$\{(\underbrace{3,443.9\text{万人}}_{※1} + \underbrace{488.5\text{万人}}_{※1} \times 0.5) \times (1 - \underbrace{0.026}_{※2}) + \underbrace{161.2\text{万人}}_{※1}\} = 3753.4\text{万人}$$

=2.715%

※1 : 令和3年労働力調査等より推計

※2 : 令和3年障害者雇用状況報告より算出

※3 : いずれもカウント後の数字

障害者雇用率の検討に要する数値の調査結果について

【身体障害者】

1. 常用雇用身体障害者数	39.4万人
2. 常用雇用短時間身体障害者数	3.5万人
3. 失業身体障害者数	9.2万人

【知的障害者】

4. 常用雇用知的障害者数	16.5万人
5. 常用雇用短時間知的障害者数	3.4万人
6. 失業知的障害者数	4.3万人

【精神障害者】

7. 常用雇用精神障害者数	9.4万人
8. 常用雇用短時間精神障害者数	3.3万人
9. 失業精神障害者数	12.9万人

※ 厚生労働省職業安定局調べ